

事業名	自給飼料生産拡大事業	総事業費	3,851 千円
-----	------------	------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施 (Do)

事業の意図		飼料生産基盤の強化
事業の実績 と成果	取組内容	市営種子島牧場の飼料畑の草地改良を実施した。また、事業参加農家との協議を進めた。
	成 果	飼料畑の草地改良を実施したことにより、単収向上が図られた。 事業参加農家及び関係機関と連携し、事業実施に向けた取組を行うことができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	受益者負担が2割の事業であるが、施設整備については、建築基準に基づいた施工を行わなければならないことから、事業費が高額になる傾向にある。 事業費が高額になるに伴い、取得した施設等の固定資産税が重くのしかかり、事業参加を断念する農家もいる。 採択要件として熊毛地区で15ha以上（受益者1名あたり1ha以上）の造成・整備が必須条件のことから、受益面積確保に苦慮している。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	令和5年度は、畜産基盤再編総合整備事業により、公共採草地の飼料畑の草地改良を実施するとともに、牛舎建築に係る測量・設計事務を進めた。また、令和6年度の事業参加要望農家との協議を進めた。また、国際情勢の変化等により、輸入牧草や飼料等が高騰しており、飼料自給率の向上がますます重要となっている。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	2023年度に引き続き、まだ草地改良を行っていない圃場の草地改良に引き続き取り組む。また、施設整備を実施する農家がいるため、県や地域振興公社と連携を図りながら、事業実施に取り組む。
-----------	--

事業名	県営畑地帯総合整備事業
-----	-------------

総事業費	16,613 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施 (Do)

事業の意図	施設の長寿命化・通作条件の向上を図り、更には作物生産性の向上を図る。	
事業の実績 と成果	取組内容	土層改良や農道整備を実施するため、県担当者との調整を行った。
	成 果	事業進捗も順調に進んでいる。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	完成した農道や土層改良に伴う受益者の満足度が得られるのか疑問視される案件が見受けられる。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	県営畑地帯総合整備事業の計画に基づき、令和5年度は、西京南地区において農道(L=410m)、横山地区において農道(L=803m)がそれぞれ整備された。また、住吉地区においては、実施計画書の策定を行った。事業の進捗により、通作条件・作物生産性の向上が図られており、引き続き県との連携を密にしながら、地元要望に沿って事業を進めていきたい。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	より地元要望に沿った基盤整備に向けた調整を行う。また、新規地区(住吉地区)の事業採択に向けた準備に取り組む。
-----------	--

事業名	県営中山間事業西之表創生地区
-----	----------------

総事業費	16,093 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施 (Do)

事業の意図	農家の営農体系強化と住みやすい農村集落の環境を創出する。	
事業の実績 と成果	取組内容	ほ場整備計画地区の換地委員会の開催、用排水路整備の設計協議や地元説明会を行なった。
	成 果	ほ場整備の換地委員会を予定通りこなすことができ、来年度以降の工事着手が見込めるようになった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	整備予定箇所数が多いため、進捗状況が懸念される。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	県営中山間地域総合整備事業の計画に基づき、令和5年度は、ほ場整備1団地（高浪・大中田団地）のほか、埋蔵文化財調査が行われた。整備予定箇所数が多いため、進捗状況が懸念されるが、引き続き、県と連携を図りながら、地元要望に沿った事業を推進したい。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	事業進捗向上に努める。
-----------	-------------

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
-----	------------------

総事業費	15,000	千円
------	--------	----

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施 (Do)

事業の意図	老朽化した基幹的な農業水利施設の機能回復と漏水を防止する。	
事業の実績 と成果	取組内容	西京ダム・畑かん施設の長寿命化対策を行い、施設の延命化を図る。
	成 果	営農用の農業用水の安定供給が確保される。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	施設点検の結果に伴い、老朽化した施設の更新や補修を年次的に実施しているが、資材高騰等で経費が高騰している。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	西京ダムは、施設供用後25年以上が経過し老朽化が進んでいる。このため、県営事業により畑かん施設整備補修、西京ダムから各幹線の監視機器等更新を行い施設の長寿命化を図っている。令和5年度は、西京ダムゲート設備の改修のほか、西俣1号及び2号井堰補修を行った。資材高騰等で経費が高騰しているが、本市農業の基盤となる重要な施設であり、引き続き維持管理に努めていきたい。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	施設の延命化を図る。
-----------	------------

事業名	県営農地整備事業（通作・保全）住吉地区
-----	---------------------

総事業費	3,675 千円
------	----------

① 計画（Plan）

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施（Do）

事業の意図	施設の適時・適正な保全対策を実施し、より一層の施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図る。	
事業の実績 と成果	取組内容	路線全体の路面状況を把握し、県担当者との協議を行い、優先箇所を設定していく。
	成 果	安全かつ安心できる通作条件の改善が図られる。

③ 振り返り（Check）

事業実施上の課題 （事業担当者記入）	住吉地区の農道開設後古い施設では30年以上が経過し、各所で老朽化が進んでいることから、計画的な保全整備を行い農道施設の長寿命化を図るものである。引き続き、補強改修を行い施設の維持に努めたい。また、令和6年度より橋梁8橋の機能保全と路面改良を西之表地区として新規事業として開始予定である。
評価結果の根拠 及び今後の課題 （担当課長記入）	塩害により老朽化した橋梁の補修を行う。

④ 改善（Action）

2024年度方向性	塩害により老朽化した橋梁の補修を行う。
-----------	---------------------

事業名	県営農地整備事業（通作・基幹）現和地区
-----	---------------------

総事業費	1,613 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施 (Do)

事業の意図	農地の大区画化や農作物の効率的出荷・処理加工のための施設整備等との有機的な連携のもとに、農地の通作条件の改善や集出荷の効率化、農作業の機械化による生産性向上を図るため、農地への通作条件等を確保する農道を整備し、農家の生産条件と産地確立を図る。	
事業の実績 と成果	取組内容	令和4年度に新規事業で採択され、令和5年度も引き続き実施設計を行い、地元説明会等を行った。
	成 果	地元説明会では、事業の計画や線形等の同意がある程度得られた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	農道整備では、個人等の用地取得が必須であることから、地元説明会を重ね施工同意が得られるよう努めていきたい。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	本事業は、令和4年度に新規事業で採択され、現和地区の農道整備を県営事業で実施するものである。令和5年度は、実施設計（L＝2,100m）、用地買収が行われた。本基幹農道の整備により、当該地区の営農の省力化や農作物・生産資材（物流）の安定化が図られるため、引き続き県と連携を図りながら、地元説明会を重ね施工同意が得られるよう努めていきたい。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	基幹農道の線形決定や地元説明会を行う。
-----------	---------------------

事業名	農道整備事業（西之表地区）
-----	---------------

総事業費	88,471 千円
------	-----------

① 計画（Plan）

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施（Do）

事業の意図	農道の改良舗装工事を行うことで、圃場までの通作条件が改善され、大型機械化への導入も進み、農業生産の向上が期待できる。	
事業の実績 と成果	取組内容	過去の要望地区をとりまとめ、年次的に測量設計及び工事を行っていく。
	成 果	営農者の通作条件及び出荷条件を改善することで、農業作物の生産性向上が見込まれる。

③ 振り返り（Check）

事業実施上の課題 （事業担当者記入）	全体計画を作成し整備を行っていくが、かなりの延長であり、長期的な整備が必要となる。
評価結果の根拠 及び今後の課題 （担当課長記入）	本事業は、大型機械導入を推進するため農道の改良舗装工事を行い、農業生産性の向上を図ることを目的としている。 令和5年度は、舗装（西浦団地3路線、野木平団地4路線、割峯団地、広掛団地、鬼ヶ野団地）、改良（分場石之峯、軍場17号線）に係る測量設計を実施した。長期的な整備が必要となるが、計画的に事業を進めていきたい。

④ 改善（Action）

2024年度方向性	農道整備における測量・設計を発注し、さらに工事を行う。
-----------	-----------------------------

事業名	畑地かんがい施設整備事業（西之表地区）
-----	---------------------

総事業費	52,381 千円
------	-----------

① 計画（Plan）

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施（Do）

事業の意図	老朽化した基幹的な農業水利施設の機能回復と漏水事故を防止する。営農用水施設を増加し、作物生産における農業用水の安定確保を目指す。	
事業の実績 と成果	取組内容	農業水利施設（パイプライン）の長寿命化対策の機能保全を行うため、パイプラインの更新と、営農のための用水施設を10箇所計画し整備を行っていく。
	成 果	農業用水の安定的な供給をすることで、作物生産の向上が見込まれる。

③ 振り返り（Check）

事業実施上の課題 （事業担当者記入）	パイプラインの更新に関しては、口径も大きく埋設道路も狭い道が多いため、通行止め等工事施工に支障をきたす懸念がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 （担当課長記入）	本事業は、安定した農業用水の確保を行うことにより、農業生産性の向上を図ることを目的としている。 令和5年度は、パイプライン（φ700・φ600）及び農業用水施設の測量設計業務を実施した。 長期的な整備が必要となるが、計画的に事業を進めていきたい。

④ 改善（Action）

2024年度方向性	測量・設計を発注し、次年度以降の畑地かんがい施設のパイプラインの更新と農業用水施設の工事発注の準備を行う。
-----------	---

事業名	用排水路施設整備事業（西之表地区）
-----	-------------------

総事業費	26,990 千円
------	-----------

① 計画（Plan）

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施（Do）

事業の意図	用排水路整備することにより、水田地帯の安定的な用水確保や水田の災害防除を図る。	
事業の実績 と成果	取組内容	地元要望の収集や用排水路の現地調査を行い、設計委託を行い用地取得後、工事を発注する。
	成 果	水田地帯の用水の安定確保や圃場の災害防除が図られる。

③ 振り返り（Check）

事業実施上の課題 （事業担当者記入）	事業開始に伴い地元要望が多いため、事業化に向けた現場調査・効果等を十分精査する必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 （担当課長記入）	本事業は、水田地帯の安定した用水の確保や豪雨等による水田の災害防除を行うことにより、農業生産性の向上を図ることを目的としている。 令和5年度は、用排水路（横山排水路、軍場排水路、下能野排水路）の測量設計業務を実施した。 引き続き、計画的に事業を進めていきたい。

④ 改善（Action）

2024年度方向性	測量・設計を発注し、次年度以降の工事発注の準備を行う。
-----------	-----------------------------

事業名	さとうきび持続的生産支援緊急対策事業	総事業費	952	千円
-----	--------------------	------	-----	----

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施 (Do)

事業の意図	中出し作業に係る経費の一部を軽減することで、さとうきび経営の安定化を推進し、栽培面積、生産量の維持・拡大を目指す。	
事業の実績 と成果	取組内容	中出し料金を助成することで、さとうきび経営の安定化を推進し、栽培面積と農家戸数の維持拡大を図るため、さとうきび機械収穫を受託している西之表市農業振興公社に対し、予算の範囲内で補助金を交付した。
	成 果	機械収穫を委託する上で負担となっていた中出し料金を一部助成したことで、経営の安定化が図られ、生産意欲が向上し、栽培面積の増となった。しかし、令和5年度は台風等の被害はそれほどなかったものの、雨が少なかったことにより反収は減少したものの、栽培面積は増加した。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	市農業振興公社から機械収穫作業を再委託されたハーベスタ組合からの実績報告が円滑に行われるよう、市農業振興公社と密に連携する必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	中出し料金の一部を補助することで、圃場整備地との耕作条件の格差を経済的に支援することにより、収益性の向上及び生産意欲の向上が図られ生産拡大につながることから本事業は有効である。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	市内の農地は小規模で基盤整備の整っていない農地が多く、農家からの要望も高いため、令和6年度についても引き続き、支出が必要となる。
-----------	--

事業名	農業経営緊急支援事業	総事業費	46,850	千円
-----	------------	------	--------	----

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施 (Do)

事業の意図		農家の経営安定と生産基盤維持の支援をする。
事業の実績 と成果	取組内容	令和4年中の農業衛生費・動力光熱費・肥料費の合計額の5%の支援を行う。
	成 果	本事業の支援により、農家の経営及び継続の支援につながった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	特になし。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	国際情勢等の影響により、農業用資材の高騰が続き、農業経営が非常に厳しくなる中、本事業により緊急的な支援を行うことで、短期的ではあるが、影響の緩和に繋げることができた。しかしながら、依然として先が見えにくい状況であり、如何に外的な要因に影響を受けにくい農業ができるか、引き続き検討していきたい。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	事業終了
-----------	------

事業名	鳥獣被害防止ネット助成事業	総事業費	2,448	千円
-----	---------------	------	-------	----

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施 (Do)

事業の意図		鳥獣被害に対する自己防衛の推進を図る。
事業の実績 と成果	取組内容	鹿ネット・支柱及び防鳥ネットについて、各店舗において助成額分を差し引いた額で販売し、その実績に基づいて適切な助成を行った。
	成 果	農家自身での鳥獣被害防除対策として、鳥獣侵入防止ネットの普及及び設置が進んだ。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	鳥獣被害防止ネットを設置しても鳥獣被害に遭う事例が発生しているため、これまで以上の効果的なネット設置方法等の周知が求められる。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	鳥獣被害を防止するためのネット助成事業は、各農家が購入した実績に基づき執行している。令和4年度から要望が多かった支柱に対する助成を追加し、支援強化を図っている。近年、農家の自衛意識も高まり防除ネットや金網柵の設置と併せ、有害鳥獣捕獲等により、農作物の被害額は減少傾向であり、販売実績についても前年度に比べ減少している。 しかしながら、依然としてシカを中心とした有害鳥獣捕獲頭数が多いことから、支援を継続しつつ、被害防止に努めたい。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	鳥獣被害があってもネット等が設置されていない圃場が見受けられるため、鹿ネット・支柱及び防鳥ネットについて、更なる普及を図る。
-----------	--

事業名	鳥獣被害防止活動お助け隊設置事業
-----	------------------

総事業費	2,993 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施 (Do)

事業の意図		鳥獣による農作物被害の報告を受けてから、被害状況・侵入経路等の確認を実施することで、捕獲依頼までを迅速に行うことが出来る。
事業の実績 と成果	取組内容	有害鳥獣による農作物被害状況の把握のため、定期的に市内を巡回し、現地確認・農家への聞き込みを実施した。集約した情報を捕獲従事者へ提供することで効果的な捕獲の実施ができた。また、農家よりシカの捕獲依頼があった際は、速やかに被害状況の確認を行い、必要があれば捕獲従事者へワナの架設依頼を行ったほか、不適切な罠の架設や情報提供のあった埋設等の不備について、指導や改善をおこなった。
	成 果	鳥獣による農作物被害の報告を受けた後、速やかに現地で被害状況の確認を行い、捕獲従事者へワナの架設依頼をすることで被害の拡大を抑えられたほか、不適切な罠の架設や埋設箇所の改善を行うことにより、苦情対応等を速やかに実施した。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	鳥獣侵入防止柵・ネット設置指導後に適切な管理がなされていない圃場が見受けられるため管理状況把握及び指導を行う必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	鳥獣被害防止活動お助け隊については、巡回員と事務補助の合わせて2名を雇用し、巡回による鳥獣被害状況の把握及び金網柵及び鳥獣被害防止ネット等の設置指導に努めている。全体として被害が減少傾向にあるが、継続的な状況把握に努め引き続き、被害低減に努めたい。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	鳥獣被害防止のために鳥獣被害防止ネット等の設置指導及び鳥獣被害状況の把握等を行う。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
 	お助け隊現地巡回員による農作物被害状況写真 (左) 古田小学校で鹿による食害。花壇が荒らされているのが窺える。 (右) カモによる食害及び苗の引き抜きの様子

事業名	鳥獣被害防止総合対策推進交付金事業
-----	-------------------

総事業費	650 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施 (Do)

事業の意図	有効な鳥獣被害防止対策の普及啓発を図る。	
事業の実績 と成果	取組内容	農業者の自己防衛手段として、狩猟免許取得のための講習会受講費助成を実施。 シカの捕獲強化のため、従事者へ貸与するくくり罠の購入をした。また、捕獲後の鳥獣を有効活用するため屋久島のジビエ加工施設の視察を行った。
	成 果	新規狩猟免許取得者3名（うち わな猟3名）で、狩猟登録を行い来年度有害捕獲活動従事者になるのは、そのうち3名。 今年度27本くくり罠を購入した。故障等があったものについて適時交換を行い、捕獲活動のサポートを行った。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	捕獲活動を実施しつつ、地域ぐるみでの鳥獣被害防除体制作りを推進する必要がある。また、有害鳥獣捕獲等で捕獲したシカは、自家消費以外は、埋設場等に埋設している状況である。ジビエ料理について、本市でも推進していきたいところであるが、流通させるためには、加工施設が必要であるため、現在、猟友会員を中心に加工施設の建設が出来ないか検討をしているところである。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	鳥獣被害防止計画に基づくソフト面での対策として、狩猟免許取得講習会費用の助成、くくり罠貸与品購入に取り組みのほか、令和5年度においては捕獲後の鳥獣を有効活用するためジビエ加工施設の視察を行った。有害捕獲や金網柵設置等の継続的な対策により、被害額は減少傾向にあるが、引き続き、被害防止に向けた取組を重ねていく。また、ジビエ加工施設については、建設後の運営が難しいということもあり、意欲のある猟友会員を中心に今後も検討していきたい。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	鳥獣被害防止計画に沿った事業を実施する。
-----------	----------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	くくり罠購入



ジビエ加工施設先進地研修の様子

事業名	鳥獣被害防止総合対策整備交付金事業
-----	-------------------

総事業費	6,318 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施 (Do)

事業の意図	シカによる農作物への被害軽減が図られる。	
事業の実績 と成果	取組内容	協議会で金網柵資材を購入し、各地区組合（設置希望団体）で自力施工による設置を行った。
	成 果	圃場を金網柵で囲むことで、鹿の侵入を防ぎ、被害防止を図れる。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	各地区組合で施工後の管理に差がある。設置後の維持管理が適切に出来ていない圃場が確認されているため、定期的に巡回をし、金網柵の管理指導を行いたい。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	令和5年度は、鳥獣被害防止計画に基づく計画延長には至らなかったが、申請のあった3,400mの金網柵については、予定どおり整備がなされた。設置後の防止効果を低下させてないよう、施工後の管理について、引き続き指導を徹底したい。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	設置後適切な管理が実施されていない圃場が見受けられるため、地元組合の施工管理及び施工後管理の改善を図る。また、鳥獣被害があっても金網柵等が設置されていない圃場も見受けられるため、本事業についての周知を行う。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	金網柵完成検査の様子

事業名	鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業	総事業費	15,900 千円
-----	------------------	------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施 (Do)

事業の意図	鹿捕獲の推進を図る。	
事業の実績 と成果	取組内容	農作物被害発生予察に基づいた有害鳥獣捕獲指示による効果的な捕獲活動を実施した。
	成 果	これまでの捕獲活動等の効果がでており、捕獲頭数は計画の約76%の2,286頭となった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	鳥獣被害防止計画に基づき、目標とした鹿捕獲数は概ね達成されている。 農作物被害は減少傾向にあるものの、令和5年度の捕獲数は前年度より増加しており、引き続き市猟友会と連携した継続的な取組により、農業被害の軽減に結びつけたい。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	罠の架設状況や捕獲後の処理に関する苦情が寄せられているため、指導を徹底する。

④ 改善 (Action)

2024年度方向性	罠の架設状況や捕獲後の処理に関する苦情が寄せられているため、指導を徹底する。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	確認検査（鹿）の様子
	確認検査（カラス）の様子